

2023年度 事業報告書

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団

2023年度 事業概要

2023年度のNHK厚生文化事業団（以下、事業団）については、概ね計画通りに事業を展開できました。

NHKやNHKグループ各社をはじめ、さまざまな団体と協力しながら、有益な福祉情報の発信・提供や支援事業を進めることで社会福祉の増進に貢献しました。

○障害者福祉事業

NHKと連携した「NHKハートフォーラム」は、関心の高い「発達障害」をはじめ、「共生社会」「ホスピタルアート」「LGBTQ+」などの幅広いテーマを取り上げて開催しました。

障害の当事者、支援する人たちの体験作文を募集する「障害福祉賞」は、NHKの番組と連動しながら例年通り開催しました。

パラリンピアンが小学校を訪ねて交流する「パラリンピアンがやってきた！」は、東京のほか、神奈川、千葉に出向いて計画通り5回実施し、たいへん喜ばれました。

障害の有無に関わらず、みんなで楽しめるスポーツとして「ボッチャ」に注目し、NHKエンタープライズ、NHKアート等と協力して「小学生ボッチャ競技会」の東京大会を開催しました。

一方で、体の不自由な子どもたちに雪遊びを楽しんでもらう「療育キャンプ」は、4年ぶりの実施に向けて準備を進めていましたが、能登半島地震の発生を受け、実施直前で残念ながら中止としました。

○高齢者福祉事業

「認知症とともに生きるまち大賞」は7回目となりました。表彰式と関連のフォーラムを東京で開いたほか、認知症をテーマにした地域ミーティング（勉強会）を秋田、岡山、函館で行うなど、各地域の福祉の現場とのつながりを大事にして事業を進めました。

NHKエンタープライズと共同で、高齢社会やがんをテーマにしたフォーラムも開催して、認知症になっても、がんになっても、人間らしく、自分らしく生きることができる社会の実現を目指した取り組みを行いました。

○地域福祉支援事業

地域の福祉活動を支援する「わかば基金」事業は予定通り実施しました。「支援金部門」「災害復興支援部門」「PC・モバイル端末購入支援部門」にあわせて252件の申請があり、50グループに総額1,582万円を贈りました。

○福祉情報提供事業

「福祉ビデオライブラリー」はタイトルを増やしながら行っています。事業団では公益財団法人JKAからの補助金で福祉ビデオ教材を作っていますが、2022年度に完成した「LGBTQ+」については従来のDVDでの貸し出しだけでなく、オンラインでも見られるようにしました。2023年度に新作した「子どもの発達障害」をテーマにしたビデオもオンライン視聴の申し込みを多数受け付け、好評です。

○チャリティー事業

コロナ前の水準で、各事業をほぼ予定通りに実施できました。「NHK福祉大相撲」では、純益で福祉車両を用意して各地の福祉施設へ贈呈していますが、1月の能登半島地震の発生を受けて、今回は用意する6台すべてを、石川県内の施設に贈ることにしました。

目 次

1. 障害者福祉事業	1
2. 高齢者福祉事業	6
3. 地域福祉支援事業	9
4. 福祉情報の提供事業	12
5. チャリティー事業	14
6. その他の支援事業	15
7. 広報活動	17
8. 内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等	18
9. 後援・協賛した事業	19
10. 寄付金	20
11. 賛助会員・維持会員等	21
12. 役員	23
13. 2023年度末常勤総数	24

1. 障害者福祉事業

(1) NHKハートフォーラム

NHKとの共催事業として、NHKの福祉番組等との連動を図りながら開催しました。
かつて支局を置いていた、近畿（大阪）、中部（名古屋）の各地区では、本部が窓口とな
って地域とのつながりを継承しながら実施しました。

4月23日（日） 香川・善通寺市

「“痛み”を“希望”に変えるアート ～ホスピタルアートの現場から～」

参加者：424人（オンライン）

7月23日（日） 東京・新宿区

「子どもの発達障害 ～今、大切なことと、将来、役に立つこと。～」

参加者：1,232人（オンライン）

10月28日（土） 和歌山市

「多様性が尊重され 自分らしく生きていける社会の実現
～自閉症の人たちの暮らしから考える～」

参加者：421人（会場）

(2024年)

3月3日（日） 愛知・名古屋

「実は身近な発達障害 発達性ディスレクシアを知ろう！」

参加者：477人（会場）

3月6日（水） 東京・新宿区

「LGBTQ+を通して考える“誰もが暮らしやすい社会”とは」

参加者：126人（オンライン）

3月24日（日） 東京・渋谷区

「絵本がひらく“共生社会への扉” ～作家・柳田邦男のいざない～」

参加者：498人（会場：14人、オンライン：484人）

*NHKの放送 4月26日 ラジオ第一・NHK-FM

ラジオ深夜便（みんなの子育て☆深夜便） 「ことばの贈りもの」

合計3,178人

(2) 教員のための「インクルーシブ教育」研修

○Eテレ「u&i」を使った特別支援教育講座

12月6日（水） 松阪市立米ノ庄小学校（三重・松阪市）

参加者：同校教職員等12人

(2024年)

1月9日(火) 堺市立美木多小学校(大阪・堺市)

参加者：同校教職員等24人

1月27日(土) 宮城教育大学(宮城・仙台市)

参加者：東北圏内教職員等30人

(3) 福祉の星フォーラム

愛知県社会福祉協議会、NHK名古屋放送局、中日新聞社との共催で、福祉を担う若手や中堅職員が本音で語り合える場を設け、福祉現場の現状と魅力を伝えるフォーラムを開催しました。

(2024年)

1月14日(日) 名古屋市

「娘と共に生きる～誰もが地域でふつうに暮らせる社会とは～」

参加者：82人(会場)

(4) 第58回NHK障害福祉賞

障害のある人の体験記録や、福祉関係者、家族などの実践記録を広く社会に伝える「障害福祉賞」。2部門合わせて506編の応募があり、選考の結果、次の実践記録が入選しました。

第1部門： 障害のある本人の部門

第2部門： 障害のある人とともに歩んでいる人の部門

応募数506編(第1部門：396編、第2部門：110編)

(入選作)

最優秀 「生きる選択」

野上 奈津(東京都)

優秀(第1部門) 「生きた時間を生きる」

三浦 律子(岐阜県)

(第1部門) 「狭間にいる私」

木村 汐里(茨城県)

(第2部門) 「共生」

金屋 友梨亜(神奈川県)

矢野賞 「『幻肢痛』まぼろしの痛みと付き合って57年」

星野 玲子(東京都)

佳作 4編

入選作品は「第58回障害福祉賞入選作品集」を作成して広く頒布したほか、視覚障害のある方にお読みいただけるよう、朗読による音声版(デジタル録音)、点字版の入選作品集も作成しました。

贈呈式は12月8日にNHK放送センターで受賞者を招いて実施し、一部の受賞者はオンラインで参加しました。また入選作品や受賞者の思いは、「ラジオ深夜便」、「ハートネットTV」で紹介されました。

＊NHKの放送

2024年1月11日	ラジオ第一・NHK-FM	ラジオ深夜便
2月2日	ラジオ第一・NHK-FM	ラジオ深夜便
3月12日	ラジオ第一・NHK-FM	ラジオ深夜便
4月30日	Eテレ「ハートネットTV」	

(5) NHKハート展

○第28回ハート展

今回から、障害のある人たちだけでなく、障害者とともに歩む人からも詩を募集しました。2,807編が寄せられ、選考の結果50編を入選としました。入選作品は、2024年6月1日(土)～7月15日(月・祝)、NHKプラスクロスSHIBUYAで展示し、以降、年度内に数か所で巡回展を予定します。

○第27回ハート展(巡回展)

2022年度に募集し、入選が決定した50編の詩は、NHKプラスクロスSHIBUYAなど全国6か所を巡回しました。

また、モニター1台に入選作品をループで映し出す「いつでもハート展」を5会場で実施しました。

全国巡回展(6会場)

	会 期	会 場	入場者数
東京・渋谷区	2023年 6月19日(月)～7月23日(日)	NHKプラスクロス SHIBUYA	15,490人
大阪市	9月15日(金)～9月28日(木)	NHK大阪放送局 1階アトリウム	630人
札幌市	10月6日(金)～10月22日(日)	NHK札幌放送局	829人
神戸市	11月17日(金)～11月27日(月)	NHK神戸放送局 トアステーション	424人
広島・福山市	12月13日(水)～12月19日(火)	まなびの館ローズコム (福山市生涯学習プラザ) 1階エントランス	952人
青森・八戸市	2024年 2月3日(土)～2月12日(月・祝)	八戸市美術館	1,111人

いつでもハート展(5会場)

	会 期	会 場	入場者数
鳥取・境港市 鳥取市	2023年 10月13日(金)～10月31日(火)	610キャラバン会場 米子鬼太郎空港/ NHK鳥取放送局	130人
松江市	11月6日(月)～12月8日(金)	NHK松江放送局	447人
佐賀市	12月13日(水)～12月25日(月)	NHK佐賀放送局	397人
東京・墨田区	2024年 2月10日(土)	国技館 ※福祉大相撲に合わせて開催	50人

名古屋市	2024年 2月16日（金）～3月10日（日）	NHK放送体験スタジオ わくわく (NHK名古屋放送局)	11,099人
------	----------------------------	------------------------------------	---------

合計 31,559人（1会場平均2,869人）

（６）交流教室 パラリンピアンがやってきた！

パラリンピック選手が小学校を訪問し、子どもたちとパラスポーツを楽しみ交流するイベントを5回実施。東京2020パラリンピックに出場した選手を中心に派遣し、どの学校でも大変喜ばれました。

6月16日（金）神奈川・にのみや学園二宮町立二宮小学校
「ブラインドサッカー」 参加者：663人

10月5日（木）東京・大田区立萩中小学校
「車いすバスケットボール」 参加者：224人

11月7日（火）東京・足立区立足立小学校
「車いすバスケットボール」 参加者：584人

11月22日（水）千葉・野田市立宮崎小学校
「車いすラグビー」 参加者：452人

（2024年）
1月26日（金）東京・目黒区立八雲小学校
「陸上」 参加者：423人

合計：2,346人

（７）小学生ボッチャ競技会～2023東京大会～

NHKエンタープライズ、NHKアートとの共催事業。今年度より事業団が主催に加わり、初めて参加校の公募を行いました。対象は、東京都の学校に在学、または東京都の団体（組織）に所属する小学校・特別支援学校の児童。参加チームの構成条件は、通常学級の児童と、2名以上の特別支援学級または特別支援学校の児童による合同チームとし、「障害のあるなしに関わらず、共に支え合い、共に学べる」をテーマに開催しました。

- ・ブロック予選（都内3ブロックで実施）：応募チーム数 17
 - 8月20日（日） Cブロック予選会場 多摩桜の丘学園（多摩市）
 - 8月26日（土） Aブロック予選会場 鹿本学園（江戸川区）
 - 8月27日（日） Bブロック予選会場 光明学園（世田谷区）

・本戦 9月18日（月） 渋谷区スポーツセンター

*NHKの放送 10月21日（土）：Eテレ

(8) 障害者スポーツへの支援

○第57回スポーツの集い

東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会と事業団が主催する知的障害のある人のスポーツ競技会。重度の障害者が参加できる全国でも数少ない大会です。会場の参加者とリモートの参加者が一体となって楽しめるプログラムを準備して実施しました。

9月13日（水） 東京体育館

参加者：884人
（会場：19団体・495人、個人・3人）
（オンライン：13団体・386人）

○パラスポーツ大会に、事業団賞と参加者への記念品を贈呈

渋谷区主催のパラスポーツ大会に、事業団賞と参加記念品を提供しました。

4月29日（土）渋谷区長杯 第6回車いすラグビー大会

6月25日（日）渋谷オープンパラバドミントン2023

（2024年）

2月4日（日） 第3回 渋谷区長杯パラ卓球大会

2月25日（日）第4回ボッチャ渋谷カップ

※上記4大会に敢闘賞の盾を贈呈。「ボッチャ渋谷カップ」には加えて参加賞を贈呈。
※いずれも会場は渋谷区スポーツセンター

(9) 福祉施設の製品販売会

事業団とNHK共済会が2011年度より共同で実施している「福祉施設で作られたお菓子などの販売会」を、東京のNHK放送センターで8回開催しました。

(10) 肢体不自由児・者のための療育キャンプ

予定していた「雪と遊ぼう 親と子の療育キャンプ」（新潟県南魚沼市）は、能登半島地震の発生を受け、安全確保を考慮して実施直前で中止としました。

2. 高齢者福祉事業

(1) 第7回 認知症とともに生きるまち大賞

「認知症700万人時代」を目前に控え、認知症の人たちと共に安心して暮らしていくための多様な取り組みの喚起をねらいに、全国から活動事例を募集し27件の応募がありました。専門家、有識者によって本賞5件を選出し表彰しました。

表彰式は、オンラインフォーラムとあわせ2024年1月に実施しました。

<受賞団体>

- ・うごまちキャラバン・メイト認知症サポーター協会からうごおたすけ隊へ
“つながる”羽後町 (秋田・羽後町)
- ・練り歩き隊が八王子を行く！
～認知症の人が仲間といっしょにまちを変える、明日を創る～ (東京・八王子市)
- ・発案から発信まで本人が中心に
わすれな草の会 (大和市若年性認知症の人と家族の会) (神奈川・大和市)
- ・当事者を中心に地域での社会参加の場を提供
チームFCいわくら (京都市)
- ・「本人の自立と尊厳」を大切に広げる活動
はるそら (岡山市)

*NHKの放送

2024年2月19日 Eテレ 「ハートネットTV」
2月13日・20日 ラジオ第一・NHK-FM ラジオ深夜便

○表彰式・フォーラム

(2024年)

1月28日(日) 東京国際フォーラム ホールD7

NHKハートフォーラム-オンライン-

「認知症とともに生きるまちづくりを考える～共生社会の創造に向けて～」

参加者：197人

○関連企画「認知症とともに生きるまちへ！」地域ミーティング

「認知症とともに生きるまち」を自分事として考えてもらう勉強会を開催しました。

6月27日(火) 秋田市

参加者：56人

9月10日(日) 岡山・津山市

参加者：88人

(2024年)

3月9日(土) 北海道・函館市

参加者：45人

(2) フォーラム（NHKエンタープライズとの共同事業）

NHKや各種団体と協力して認知症やがんなどのフォーラムを計5回実施。当事者やその家族、医療、介護従事者など2,918人が参加・視聴しました。

○浜松発フォーラム「“もの忘れ”を感じたら～認知症予防と健康寿命～」

7月9日（日） 静岡・浜松市

参加者：384人（会場：102人、オンライン：282人）

*NHKの放送

9月16日 Eテレ TVシンポジウム

「人生100年時代 認知症を予防する未来へ」

○福岡発フォーラム「がんと生きる ～こころとからだ 私らしく～」

8月6日（日） 福岡市

参加者：788人（会場：152人、オンライン：636人）

○大阪発フォーラム「がんと生きる ～こころとからだ 私らしく～」

（2024年）

2月18日（日） 大阪市

参加者：886人（会場：298人、オンライン：588人）

○東北発 三宅民夫と考える 長寿の未来フォーラム「健やかさの種をさがす」

9月10日（日） 仙台市

参加者：248人（会場：131人、オンライン：117人）

*NHKの放送

東北ココから「老いの孤独 どう乗り越える？老人戦隊と居場所ハウス」

2024年1月19日 総合（宮城県域）

1月20日 総合（東北ブロック）

○京都発 三宅民夫と考える長寿の未来フォーラム

「認知症のこれから ～本人と家族で考える、“幸せ”とは～」

（2024年）

3月3日（日） 京都市

参加者：612人（会場：231人、オンライン：381人）

合計：2,918人

(3) 新・介護百人一首2023

2006年から続けてきた、介護短歌の応募作から100首を選ぶ「NHK介護百人一首」をリニューアルして、2021年度から「新・介護百人一首」と改称してNHK財団と事業団の共催で実施しています。

3年目を迎えた今回は、若い世代を中心に応募が増えて、過去最多の全国6,855人から、14,196首の応募が寄せられました。

入選作品はNHK財団のホームページに掲載したほか、入選作品集を作成し、入選者、応募者、関係施設に贈呈。希望者にも送料のみの負担で配布する予定です。

また今回、初めての試みとして、入選者を招いての交流会「新・介護百人一首2023 入選者のつどい」を2024年2月17日（土）にNHK財団内会議室で実施しました。脳科学者の茂木健一郎氏によるミニ講話や、入選作品の朗読なども行われ、入選者と選者のみなさん（春日いづみ氏、桑原正紀氏、笹公人氏、花山周子氏）が和やかに交流しました。

参加者：40組 （会場：21組）※入選者とそのご家族31人
（オンライン：19組）

*NHKの放送

2024年1月27日 ラジオ第一・NHK-FM ラジオ深夜便

3. 地域福祉支援事業

(1) 第35回 地域福祉を支援する「わかば基金」

あすの福祉の芽を育てる「わかば基金」は、福祉の分野で地道に活動が続けているグループを支援するために設けられたもので、35回目の今回は、「支援金部門」に163グループ、全国の激甚災害の被災地から申請を募った「災害復興支援部門」に6グループ、「リサイクルパソコン部門」に代えて新設した「PC・モバイル端末購入支援部門」に83グループから申請がありました。

選考委員会を経て、全国50グループに総額1,582万円の支援金を贈ることとしました。初回からの贈呈件数は970に上ります。

19回から34回まで募集をした「リサイクルパソコン部門」は、情報保護の観点からNHKや関連団体からのパソコン提供が難しくなったことや新しいソフトをインストールできず利用者にとって必ずしも使いやすいパソコンを提供できなくなったことなどを鑑み廃止。代わりにパソコンやタブレットなどの購入資金を上限10万円まで支援する「PC・モバイル端末購入支援部門」へ移行しました。

なお、「リサイクルパソコン部門」では、実施した16回で329グループに832台のパソコンを贈呈しました。

○支援金部門 支援先 (19グループ、支援金総額1,243万円)

北海道函館市	NPO法人救命のリレー普及会	救命訓練用マネキン	90万円
宮城県登米市	NPO法人スマイルむさし	浴室改修	90万円
群馬県前橋市	NPO法人ソンリッサ	冷蔵庫、テーブルなど	54万円
埼玉県狭山市	狭山カーレットクラブまぜこぜ	カーレット用具	27万円
東京都日野市	NPO法人やまぼうし里山耕房くらさわ	耕運機	31万円
神奈川県横浜市	2型コラーゲン異常症患者・家族の会	絵本、動画制作	90万円
神奈川県横須賀市	横須賀市点訳奉仕会	点字プリンター	90万円
新潟県長岡市	NPO法人学びスペースあうるの森	デジタル教材	71万円
静岡県伊東市	E i nこぐま倶楽部	コンロ改修、業務用調理器	87万円
愛知県知多市	てんやくサークルてんてん	点字プリンター	47万円
三重県四日市市	NPO法人下野・生き域ネット	車両	90万円
京都府宇治市	宇治リーディングボランティア	デイジー図書再生機	44万円
大阪府吹田市	NPO法人ここ	キッチン改修	60万円

兵庫県穴栗市	NPO法人ピアサポートひまわりの家	粉碎機など	90万円
岡山県岡山市	NPO法人妊娠しえるとSOS	エアコン	90万円
高知県高知市	NPO法人あさひ会はばたき共同作業所	排水工事など	63万円
高知県高知市	はなまるキッズこうち	移動支援機器、重力遊具	59万円
福岡県田川市	NPO法人スカイラボサポートセンター	冷蔵庫、冷凍庫	47万円
佐賀県佐賀市	NPO法人p o c c o a b o c c o	妊婦体験ジャケット	23万円

○災害復興支援部門 支援先（1グループ、支援金総額：41万円）

新潟県村上市	ふくちゃ部	居場所運営の食材・備品など	41万円
--------	-------	---------------	------

○PC・モバイル端末購入支援部門 支援先（30グループ・支援金総額298万円）

青森県青森市	チャイルドラインあおもり	10万円
宮城県仙台市	相互支援PSI仙台わくわく	10万円
山形県飯豊町	NPO法人まちづくりいいで	10万円
福島県会津美里町	NPO法人A i z u - C o m p u f a r m	10万円
福島県田村市	NPO法人船引フォーラム	10万円
栃木県日光市	NPO法人あかね会	10万円
栃木県鹿沼市	点訳グループ「桐」	10万円
千葉県千葉市	千葉市JSL児童・生徒支援の会	10万円
東京都台東区	ITボランティア虹の会	10万円
東京都品川区	NPO法人膠原病・血管炎サポートネットワーク	10万円
東京都大田区	NPO法人ユースコミュニティー	10万円
神奈川県横浜市	鶴見ブラインドメイト「ワルツ」	10万円
新潟県三条市	音声パソコンバニラ	10万円
新潟県新潟市	新潟県中途失聴・難聴者協会新潟支部	10万円
新潟県新潟市	新潟要約筆記サークル	10万円
新潟県新潟市	NPO法人プエルタ・ハル	9万円

愛知県名古屋市	NPO法人ドリーム	10万円
愛知県豊田市	西三河音声確認文字研究会「こえもじ」	9万円
京都府精華町	精華町要約筆記サークル「ひまわり」	10万円
大阪府大阪市	NPO法人ところ	10万円
兵庫県三田市	三田聴覚障害者協会	10万円
山口県萩市	OHaGi	10万円
山口県下関市	NPO法人要約筆記しものせき	10万円
愛媛県新居浜市	NPO法人あえる グループホームまぜ	10万円
愛媛県松山市	愛媛デジ女プロジェクト	10万円
大分県大分市	ボランティアみちの会	10万円
宮崎県宮崎市	筆記サポート「ゆうゆう」	10万円
宮崎県宮崎市	ひとりひとりの気づきを大切にするパーム・アウエア	10万円
宮崎県宮崎市	NPO法人宮崎県盲ろう者友の会	10万円
宮崎県宮崎市	NPO法人宮崎21高齢者福祉研究会	10万円

(2) わが町のインクルーシブ防災

地震、津波、台風、集中豪雨などの自然災害のたびに高齢者や障害当事者などの「避難行動要支援者」の命が危険にさらされます。こうした人たちを誰一人取り残さず救うという「インクルーシブ防災」の普及・啓発を促すワークショップを開催しました。

東日本大震災時の障害当事者の支援や調査を行った講師の話を聞き、「自然災害が起きた時、あなたの地域で暮らす避難行動要支援者を救うか」を、地域のハザードマップを使いながら考えました。

2024年3月29日（金） 大分県日田市 光岡公民館

参加者：34人

4. 福祉情報提供事業

(1) 福祉ライブラリー事業

「福祉ライブラリー」はNHKの福祉番組をDVDに複製して貸し出すもので、事業団創立以来の基幹事業の一つです。多様なラインナップで、教育や福祉の現場で活用されています。授業やイベントがオンラインになる中、ホームページをリニューアルし、事業団が独自制作したビデオの中から2作、オンライン視聴を可能としました。たいへん大きな反響があり、再生回数が伸びました。

○福祉ビデオライブラリー

2023年度に新しくライブラリー化した番組は43。「ハートネットTV」などテレビの福祉番組や、「おひとりさまでも、家で死ねますか?」「NHKスペシャル」など利用者のリクエストを反映しながら福祉の学習に役立つ番組をDVDに複製しました。また、聴覚障害者向け字幕DVDや、独自制作の福祉ビデオ教材も制作しました。

おもな利用者は、福祉関係の大学・専門学校や、福祉の現場で働く人、障害のある当事者、その家族、ボランティア団体など。

利用が特に多かったソフトは、「優しい認知症ケア ユマニチュード」（130本）。つづいて「発達障害の子どもの育ちを支える」（125本、うちオンライン視聴118）、「ひきこもりからの回復」（54本）、「うつ病」（41本）、「新しい絆の作り方 特別養子縁組・里親入門」（37本）で、いずれも独自制作ビデオです。

2023年度 複製番組数	ライブラリー保有番組数	年間利用数
43番組	700番組	2,136本

◎これまでの利用数累計：21万2,623本

○聴覚障害者向け字幕ビデオライブラリー

NHKの字幕放送の拡充にあわせ、聴覚障害者向けサービスとして2003年度から行っています。2023年度は、手話アニメーション「しゅわわん!」、バリバラ「“ハマってしまった人”にきいてみた ～意外と身近な依存症の世界～」など4番組を字幕化しました。

このライブラリーには通算129番組が収められ、全国57の聴覚障害者関係施設と当事業団で貸し出しを行っています。

○視覚障害者のための音声ライブラリー

文芸作品や古典の名作を朗読したNHKの番組をデジタル録音にして、全国45か所の委託施設（点字図書館）で貸し出しを行っています。

2023年度は、『ラジオ文芸館（ラジオ深夜便）』から「江戸の海」（白石一郎）、『新日曜名作座』から「銭形平次捕物控」、『FMシアター』から、令和4年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞した「琥珀（こはく）のひと」などの番組を加えました。

2023年度 ライブラリー化作品数	年間利用数
4番組 8作品	2,696本(枚)

◎これまでの利用数累計： 200万4,349本

(2) 福祉ビデオ教材「発達障害の子どもの育ちを支える」の制作

高いニーズが寄せられてきた「発達障害の子どもの支援」について、幼少期から思春期までを網羅し、家庭や学校など、子どもとかかわる人が実践できる「具体的なヒント」を盛り込んだ教材ビデオを制作しました。

このビデオは、福祉ビデオライブラリーの「オンライン視聴」または「DVD貸し出し」にて視聴可能。特に「オンライン視聴」が本格的始動したことで、利便性が向上し、視聴者から大変ご好評をいただいています。全国の行政・教育・福祉・医療機関等へも告知を行い、利用を促しています。

なお、本事業はJKAの補助金を得て実施しました。

- ・ビデオ1 前編「幼少期から小学校まで」
- ・ビデオ2 後編「思春期から将来へ」

監修：本田秀夫（精神科医／信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授）

(3) 「認知症」の理解に役立つ冊子の配布

NHK「きょうの健康」より抜刷したパンフレット「理解が変わる！？認知症の世界」を関係するフォーラムの参加者や希望者に配布しました。

5. チャリティー事業

年間を通じて数々のチャリティーイベントを実施しました。

(1) NHK番組公開チャリティー

催物名	期 日	会 場	売上高等（千円）
おかあさんといっしょ ファミリーコンサート	5月4日～ 2024年3月3日	NHKホール 埼玉県川越市ほか 全国12会場 44公演	（寄付額） 10,709 ※2024年度入金
いないいないばあっ！ ワンワンわんだーらんど	4月2日～ 2024年3月3日	群馬県前橋市ほか 全国10会場 26公演	（寄付額） 5,644 ※2024年度入金

(2) 事業団企画チャリティー

催し物名	期日	会場	売上高等（千円）
令和5年度 日本陶芸倶楽部会員 チャリティー作品発表展	5月16日～ 5月21日	柿傳ギャラリー （東京・新宿）	（寄付額） 1,017
N響「第9」 チャリティーコンサート	12月26日	NHKホール	（売上高） 19,252
第56回NHK福祉大相撲 ※	2024年2月10日 *NHKの放送 2月25日 総合	国技館	（売上高） 25,624

※:物品などの贈呈を行った催し物で、詳細は6.（3）に記載

6. その他の支援事業

(1) NHK歳末たすけあい・NHK海外たすけあい

2023年度「NHK歳末たすけあい」「NHK海外たすけあい」を、NHK、中央共同募金会、日本赤十字社と共催で12月1日～25日の間実施しました。

「NHK歳末たすけあい」は、共同募金会を通じて、国内で孤独・孤立の状態に置かれている人々、生活に困窮する人々のために役立てられます。

「NHK海外たすけあい」は、日本赤十字社を通じて、世界各地で、紛争、災害、病気などに苦しむ人々のために役立てられます。

受付件数・金額（全国集計）

NHK歳末たすけあい	2万8,974件	4億4,265万7,834円
NHK海外たすけあい	8万4,339件	8億6,384万1,244円

(2) 災害たすけあい

NHK、共同募金会、日本赤十字社とともに、大規模な災害が起こった際に、「災害たすけあい」を立ち上げており、2023年度は9件の実施がありました。

（国内）

件 名	期 間	金 額
山口県令和5年6月30日からの 大雨災害義援金	7月12日～12月29日	1億2,458万7,502円
令和5年7月 島根県 大雨災害義援金	7月20日～8月31日	588万317円
秋田県大雨災害義援金	7月21日～10月31日	4億203万3,159円
富山県令和5年6・7月 豪雨災害義援金	7月25日～8月31日	2,505万9,873円
令和6年能登半島地震災害義援金 （富山県被災者支援分）	2024年1月5日～12月27日	（受付中）

（海外）

件 名	期 間	金 額
2023年トルコ・シリア地震救援金	2月9日～5月31日	58億445万2,579円

2023年モロッコ地震救援金	9月12日～11月30日	2億5,775万9,232円
2023年リビア洪水救援金	9月14日～11月30日	1億4,432万5,094円
2023年アフガニスタン地震救援金	10月11日～12月29日	6,066万4,780円

(3) 物品などの寄贈

○NHK福祉大相撲による福祉車両の寄贈

2024年2月10日に開催した「第56回NHK福祉大相撲」(入場者4,345人)の純益により福祉車両「福祉相撲号」5台を購入し、これに協力企業からの寄贈1台と合わせて合計6台を用意して、1月に発生した能登半島地震で被害のあった石川県内の社会福祉団体に寄贈することにしました。

(寄贈先)

- ・社会福祉法人能登福祉会
- ・社会福祉法人礎会
- ・社会福祉法人はまなす会
- ・珠洲市社会福祉協議会
- ・能登町社会福祉協議会
- ・輪島市社会福祉協議会

(4) 催し物への招待

事業団主催の催し物に、視覚障害や知的障害のある人など460人を招待しました。

12月26日(火) N響「第9」チャリティーコンサート NHKホール

招待者：120人

(2024年)

2月10日(土) NHK福祉大相撲

両国 国技館

招待者：340人

合計：460人

7. 広報活動

事業団が主催するフォーラムや催し物情報、福祉ビデオライブラリーの新着情報、これまでの活動記録などをホームページで掲載するとともに、メールマガジンやSNSでも配信し、事業団の福祉活動への理解と協力を求めました。

（１）ホームページ、メールマガジン等による広報強化

事業団の活動をより多くの人に知ってもらい、活用してもらうため、「最近の活動内容」や「募集事業の案内」「福祉ビデオライブラリーの新着情報」などをきめ細かく提供するとともに、ビジュアルでわかりやすい画面構成に努めました。また、若い世代にも福祉情報が届きやすくすることを狙い、Instagramによる情報提供にも力を入れました。

主な掲載内容は、

- ・ 事業団の「催し物の予定」や「実施事業の報告」
- ・ 「NHK障害福祉賞」などの入選作品の紹介
- ・ 「わかば基金」で支援した福祉団体の活動をリポートする「わかばなかま」
- ・ 「福祉ビデオライブラリー」今月の新作、おすすめDVD
- ・ 寄付について など

福祉DVD「あなたにしてほしい がんのこと」の動画の一部や「認知症とともに生きるまち大賞」受賞団体の活動映像の動画をホームページで配信し、要望に応えました。

（２）広報物の作成・配布

NHK厚生文化事業団年報を発行して事業団の福祉活動への理解促進を図りました。

8. 内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等

事業団はNHKグループの一員であるとともに、社会福祉法に則り、寄付で運営される社会福祉法人であることから、高い説明責任、透明性ある事業運営が強く求められており、引き続き、内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等に努めました。

（１）内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底

○外部の専門団体との連携

外部の専門団体との間で顧問契約を結び、適正経理、法務、労務・安全管理、情報セキュリティ等の重点リスクについて逐次助言を得て、客観性や合理性、専門性を担保し業務を進めました。

NHKグループの「統合ネット」に参加して、NHKと連携して情報セキュリティの整備に努めました。財務管理は社会福祉法人会計基準に対応した財務システムにより行いました。

○内部監査と会計監査

内部監査についてNHKビジネスクリエイト委託による実地監査を受検し、また、会計監査は、監査法人の専門チームに委託して行いました。カバナンスの徹底に引き続き努めていきます。

○業務の適正を確保するための体制の評価

NHKグループの仕様に基づき、内部統制について「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「ITへの対応」の6つの観点から整備状況および運用状況の有効性を評価しました。また、業務上重要なリスクを抽出したうえで、必要な対応（内部統制）を実施しているか評価しました。評価の結果、2024年3月31日時点における事業団の内部統制は、概ね有効であると判断されました。

（２）「働き方改革」の推進等

「働き方改革」に継続して取り組み、より創造性を発揮できる環境の整備に努めました。毎月の「働き方総点検」で、時間外や勤労休暇取得日数、業務量のバランスなどを把握し、適正な勤務管理に努めました。事業団の必須目標とした勤労休暇年間7日以上を取得を全員が達成しました。

時勢に合わせた傷病休職等に係る就業規則の一部改定（傷病休職時の賃金減額率の改定等）による厳格化を図る一方、職員の健康増進、疾病予防等に資する見直しとして、人間ドック補助上限額の増額改定、外部総合型福利厚生サービスの導入などを実施しました。

（３）各種研修の実施

情報セキュリティ関係など、NHKから講師を招いて事業団独自で開催した研修などを通して、全役職員の意識を高め、リスクマネジメントの強化に努めました。

9. 後援・協賛した事業

毎年、福祉、教育、医療団体などが実施する研修や啓発事業、美術、スポーツ団体などが福祉目的で開催するチャリティー事業等に積極的に協力してきました。近畿支局の閉所に伴って件数が減少し、８９件の後援・協賛にとどまりました。（昨年度は１０１件）

○福祉関連の催し物 ６４件（昨年度は７２件）

「世界自閉症啓発デー２０２３」「第１０回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」
「高校生ボランティア・アワード２０２３」「家族の会「わかば」の講演会、「誰一人取り残されない防災にむけて」などを後援、協賛しました。

○チャリティー催し物 ２５件（昨年度は２９件）

「国展」「春陽展」「東光展」「二科展」「三多摩総合舞踊発表会」「チアリーディング日本選手権大会」「KEIRINGランプリ２０２３」「東美正光会」「手工芸作品展」「チャリティー全国大陶器市」（１１か所）を後援し、その益金から事業団へ寄付をいただきました。

10. 寄付金

個人や団体から当事業団に寄付をいただく一般寄付金と、当事業団が主催、後援、協賛したチャリティー事業から得るチャリティー寄付金の2種類があり、2023年度は以下の通りとなりました。

項 目	件 数	金 額
一般寄付金	131件	9,034万5,520円
チャリティー寄付金	219件	3,758万4,380円
合 計	350件	12,792万9,900円

11. 賛助会員・維持会員等

賛助会員は一般法人に協力を求め、96団体から1,520万円の支援を受けました。

個人からの継続寄付者を含む維持会員等については、697人の方々の協力を得て、その額は235万円となりました。

〔特別賛助会員〕

- | | | |
|--------------|---------|----------------|
| ・三栄製薬 | ・第一生命保険 | ・ノービスハイエストサービス |
| ・日立製作所 | ・富士通 | ・みずほ銀行 |
| ・NHKエンタープライズ | | |

〔賛助会員〕

- | | | |
|---------------|-------------------|-----------------|
| ・愛知県農業協同組合中央会 | ・葵設備工事 | ・アットホーム |
| ・アフラック生命保険 | ・アーチェリープロダクション | ・アーティストハウスピラミッド |
| ・池上通信機 | ・石川近鉄タクシー | ・岩谷産業 |
| ・HSレストラン | ・エクサート松崎 | ・荏原冷熱システム |
| ・遠藤波津子美容室 | ・岡谷鋼機 | ・勝亦電機製作所 |
| ・加藤電気工業所 | ・川崎重工業 | ・川嶋印刷 |
| ・木下サーカス | ・清竹 | ・近物レックス |
| ・グリーン・アート | ・KDDI | ・港北メディアサービス |
| ・国際自動車 | ・コメリ | ・近藤産興 |
| ・サンセイ | ・ジーズ・コーポレーション | ・ジェイアール東海高島屋 |
| ・島精機製作所 | ・小学館 | ・白川プロ |
| ・スタービーイング | ・スマートコンセプト | ・住友電気工業 |
| ・全国大陶器市振興組合 | ・全国陶器祭り振興会 | ・ゼンリン |
| ・総合システム管理 | ・大和自動車交通 | ・大和証券 |
| ・大和リース | ・ツムラ | ・帝産キャブ名古屋 |
| ・帝都自動車交通 | ・東芝インフラシステムズ | ・東新紙業 |
| ・西川 | ・日産自動車販売 | ・日本医師会 |
| ・日本音楽事業者協会 | ・日本音楽著作権協会 | ・日本ガイシー |
| ・日本交通 | ・日本電気 | ・ネイチャー |
| ・野村ホールディングス | ・バーニングプロダクション | ・花岡無線電機 |
| ・阪急電鉄 | ・日立国際電気 | ・PL東京健康管理センター |
| ・福建社 | ・丸一鋼管 | ・丸徳産業 |
| ・三井住友信託銀行 | ・三菱UFJ信託銀行 | ・明電舎 |
| ・メディア21 | ・森平舞台機構 | ・ヨコシネディーアイエー |
| ・吉本興業 | ・リンレイ | ・WOWOW |
| ・NHKアート | ・NHK営業サービス | ・NHKエデュケーショナル |
| ・NHK学園 | ・NHKグローバルメディアサービス | ・NHK財団 |
| ・NHK出版 | ・NHKテクノロジーズ | ・NHKビジネスクリエイト |

・NHKプロモーション
・日本放送協会共済会

・共栄サービス
・放送衛星システム

・日本国際放送

(五十音順)

(2024年3月31日現在)

12. 役員

(1) 役員体制 (2024年3月31日現在)

理事長	高橋 正尚	
常務理事	石川 信	
理事（非常勤）	有吉 伸人	（株式会社NHKエンタープライズ代表取締役社長）
理事（非常勤）	上野 一彦	（東京学芸大学名誉教授）
理事（非常勤）	伍藤 忠春	（公益財団法人日本パラスポーツ協会評議員）
理事（非常勤）	立原 麻里子	（社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会理事長）
理事（非常勤）	田中 良憲	（NHKメディア総局展開センター エグゼクティブ・リード）
理事（非常勤）	中村 吉夫	（社会福祉法人聴力障害者情報文化センター理事長）
理事（非常勤）	橋本 正明	（公益財団法人社会福祉振興・試験センター理事長）
理事（非常勤）	水高 満	（NHKメディア総局第1制作センター長）
監事（非常勤）	阿部 陽一郎	（社会福祉法人中央共同募金会常務理事）
監事（非常勤）	藤川 英彦	（株式会社NHK出版特別経営主幹）

(2) 理事および監事に支払った報酬等の額

役員区分	報酬の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額		対象者数 (人)
		定額部分	変動部分	
理 事 (非常勤役員を除く)	33,756	22,836	10,920	3
非常勤理事・監事	190	190	0	6

※NHKおよびNHK関連団体の役職員としての立場を有する非常勤理事3人・非常勤監事1人に対しては、報酬を支払っていません。

※上記以外の非常勤理事5人・非常勤監事1人に対しては、理事会に出席の都度、定額を支払っています。

13. 2023年度末常勤総数

14人